

## 農地・水・環境保全 向上対策について

木村 祐一 議員



**木村** 財源不足の折、スマートインターチェンジ構想が危惧される。主導的立場の本市としてどう対処されるのか。

### 経済、物流の起点

**産業振興部長** 同意が一番の問題で、95%以上の同意率が必要と考えます。地役権問題や同意書について委員と連携を取り、事業申請に向けて努力します。

**木村** 圃場整備に向けて、推進委員さんを中心に合生地区圃場整備の実現を目指し取り組まれているが、見通しと課題について。

**産業振興部長** 平成19年度に未実施地区に説明会を実施したところ、1地区より申込があり、平成20年度から12地区で事業を実施して行く予定であります。

**木村** 農地、水、その諸環境を良好な状態で保全し、質的向上を図るための対策事業である。11組織で取り組み中であり、他の組織でも是非取り組むべき事業だが。

### 食育と徳育

**市長** 現在、県が実施中の事業候補地の調査報告を待っている。報告がありしだい熊本市など関係機関へ事業推進について、働きかけていきたい。

**木村** 「食」を通して人間性を構築することは「徳育」にもつながると思う。保護者、先生方のご理解を得て、子どもたちが作る「お弁当の日」を実践しては。

**教育長** 先般、市PTA主催の食育に関する講演があり講師の内田美智子さんは食育の一環として「弁当の日」を決め実践され、好評。本市でも体験させてみたい。

## 学校給食について

濱元 幸一郎 議員



**教育委員長** 合志市におけるこれらの学校給食のあり方について、概ね10年間は現行のままとし、その後給食センターへの統一と将来管理部門以外の民間委託導入を基本とした、効果的で効率的な学校給食運営を目指したものである。教育委員会は、教育的視点をもち真摯に検討を行う。

**濱元** 今後の方向性について、給食センターへの統一と将来民間委託を導入するとの教育委員会の結論が出されたが、教育委員会会議録を読むと子どもたちの食育や食の安全・安心よりも財政的な検討ばかりが行われたように見受けられる。保護者の方々が子どもたちに「学校給食で、おいしいものを、温かいものを」とか言うのは賛否な話。「こんなところに金をかけるべきではない」との発言や、センター方式の方が財政的に安くつくという無理やり裏付けるように要求する発言まで出ている。教育的な観点から、学校給食について誠実に検討されたとは思えない。もう一度、一から議論をやり直すべきだ。



その内容については、子どもたちの食育や地産地消による食の安全・安心を十分考えたうえで、また、今後益々厳しくなると予想される市の財政状況等も十分考慮して結論を出したものである。

## かつてなかった 人口政策導入を!!

坂本 武人 議員



**坂本** 現水準以上の公共福祉を堅持するためには、大規模な定住政策たる人口政策が不可欠なことは明白だが、行政として総合計画期限のH27年までにおける妥当な人口形態をどのように設定されているのか伺う。

### 情報公開条例、改正後も 更なる努力を!

**坂本** 3月議会で提案した情報公開条例の改正案が今定例会に上程され有意義に感じているが、中身についてどういう趣旨でどういう効果がねらいなのか確認しておきたい。

**総務企画部長** 坂本議員からの提案を受け、市民との情報の共有という観点から、より積極的な情報公開の施策を推進していくということである。

### 合志庁舎前・市民交流ゾーン について

**坂本** 合志庁舎前、当該開発計画区域を含む市民交流ゾーンのゾーニングの定義を明確にしておきたい。

**市長** 合志庁舎やヴィーブルなど市の施設がある4つの地域を市民交流の拠点地域として設定している。

**坂本** 都計法改正後、当該計画が極めて困難である現状を認識された上で、公としての現在の姿勢または立場をお聞かせ願いたい。



SC開発計画の浮上している合志庁舎前24ha

## 通学路は 安全安心か!!

松下 広美 議員



**松下** 通学路の安全点検はどうしているのか。

**総務企画部長** 各小中学校やPTA、自治会等の団体が行う点検等に対応している。

**松下** 危険箇所の改善計画はどのようなものか。

**総務企画部長** 各地域等から上がってくる要望等と関係する部署で計画し、対応している。

**松下** チャイルドシート助成は20年度から廃止されるが、交通安全、子育て支援日本一を掲げていることから継続する必要があるが、考えを伺う。

**健康福祉部長** 新たな子育て世帯への経済的負担の軽減策を講じたことに伴う廃止です。

**松下** 不要になったチャイルドシートがあるの、リサイクルして活用できないか。

**健康福祉部長** 今後は市民同士が情報、



交流を通じたリサイクルシステムを構築したい。

### 高齢者福祉の危機管理について

**松下** ひとり暮らしや老夫婦世帯が増加している中、災害や急病から守るための危機管理を伺う。

**健康福祉部長** 消防と地域住民が協力して避難誘導、救助を行うことが必要と思われま。

**松下** 高齢者人施設等を含めて連絡会議は開いているのか。

**健康福祉部長** 事業所ごとの運営推進会議に出席して、指導を行っております。

### 高齢者の生きがい対策について

**松下** お年寄りが病院、買物等に出かけるとき送迎のサービスはできないか。

**健康福祉部長** 買物や友人・知人等と逢つための外出支援は、現在のところ考えておりません。

**松下** 成年後見制度の取組み状況を伺う。

**健康福祉部長** 親族が不在ということで、一件審判申立を裁判所に行ったところ。